



令和8年度 朝日小中学校 全体構想

【高山市小・中学校教育の方針】
未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

【児童・生徒の願い】
・お互いの良さを認め合うことで自分を高めていける仲間になりたい
・お互いに考えや意見を伝え合うことで新しいことをたくさん知り、できるようになって、自分を高めていきたい

【教員の願い】
・高い目標をもち、その達成に向けて、仲間と協働し、自分の成長を実感できる
・地域に貢献することで自分の力を実感し、愛着と誇りをもつことができる
・保小中が連携した教育活動をさらに充実させる

【地域の願い】
ふるさとに夢と誇りをもち、ふるさとに貢献する子を育て、地域に元気を生み出す学び舎

【教育目標】 自立(自分で)・共生(仲間とともに)
【9年間で育てる資質・能力】
～ふるさとの中で、自分で判断して行動し、人と関わり共に生き抜く力～

学習

自立(自分で)

共生(仲間とともに)

学習

(小)自分の考えをもち、学びの深まりを自覚する自分の時間の確立
・解決方法を選択し、自分の考えをもつ。
・学びの深まりを自覚し、振り返りで表現する。

(中)思考し続ける「自立タイム」の創造
・自ら追究する力(学び方)を高めることで、「学力=学ぶ力」を培う
・「学力=学ぶ力」を高めることで、“楽しい”“わかる”“できる”授業を創り出す

生活

(小)なりたい自分に向けて努力する
・なりたい自分を具体的に描き、振り返りながら達成を目指して努力する。
・自分の願いや考えを表現するためのプレゼン力をつける。

(中)自分を見つめ個を高め続ける活動
・自分の“中学生キャリア”を描くこと、具体的な努力を残すことで「なりたい自分」にアプローチしていく

(小)対話や議論を通して、考えを深めるための仲間時間の確立
・小集団で仲間の考えと関わらせながら対話や議論する。
・仲間と意見を交わす中でよりよい考えを導き、互いに表現する力を高める。

(中)表現し続ける「共生タイム」の創造
・教科横断的に表現する力を高め、小集団で互いに説明力・プレゼン力を高めていく
・「サキドリ研究指定校」として多様な思考、学び方の継承、異集団での人間形成を学ぶ

生活

(小)仲間の良さや違いを認め合える活動
・互いを認め合える学年集団と縦割り班活動をつくる。
・集団での自分の役割を自覚し、仲間のために最後までやりきる。

(中)仲間を見つめ集団と共に高まる活動
・学年の使命を自覚し、令和10年度につながっていく活動を、学級の仲間と生み出し、小中学校に広がっていく活動にしていく

ふるさと学習

(小)郷土を知り、愛し、人々とつながり、自分ができていることを考えて行動しようとする児童の育成
・ふるさと先生から学んだことを表現するプレゼン力をつける。ふるさとで自分のできることを考え、主体的に行動する。
(中)ふるさとの中で学び、身に付けた「自立力」と「共生力」を発揮し、地域に発信できる生徒の育成
・自分の生き方を考え、キャリアとして刻み自信をもって行動する。仲間と協働しながら、貢献の一步をふみ出す。

【学校経営の土台として】

①令和10年度義務教育学校開校につながる令和8年度の取り組みく～協働から共創へ～
・「朝日タイム」の実施 ……小学校40分、中学校45分授業により、時間を生み出す。
・小中兼務の推進 ……互いの授業を担当する教職員を増やし、児童生徒理解を深める。
・合同の研究・部会・研修 ……目的や具体的な取組等、方向性を確認し小中で共に創る。

②教職員の構え

・少人数の強みを生かした授業づくり
・全児童生徒の居場所づくり
・縦割り活動等による人間関係づくり
・個の確かな力をつけ、その上での集団づくり

いじめ・不登校
◇未然防止
◇早期発見
◇早期対応

＜働き方レベルアップ＞
・高い同僚性の構築
・効果的能率的業務推進
・児童生徒と共に